

津市長賞



朝あけ・くもの巣
奥田 加代子

津市教育長賞



雨上がり 田所 妙子

津市議会議長賞



刻・ルート66
三谷 健治

岡田文化財団賞



ひかり
木下 ひなた

力作が多く選定に苦勞しましたが、時間をかけ慎重に審査しました。主題も斬新で着眼点の良い作品が多く出品されています。

市長賞は、朝あけの情景がうまく表現されています。議長賞は、細密な点描表現が主題の情感を効果的なものにしてあります。教育長賞は、水たまりの描写がうまく表現されており、淡い色使いも巧みです。岡田文化財団賞は、ダイナミックな構図で、室内の光のコントラストがうまく表現されています。

津市長賞



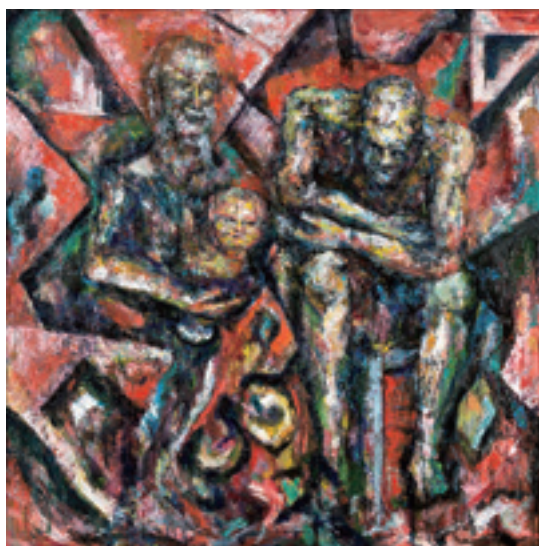
沈黙 森本 香

津市議会議長賞



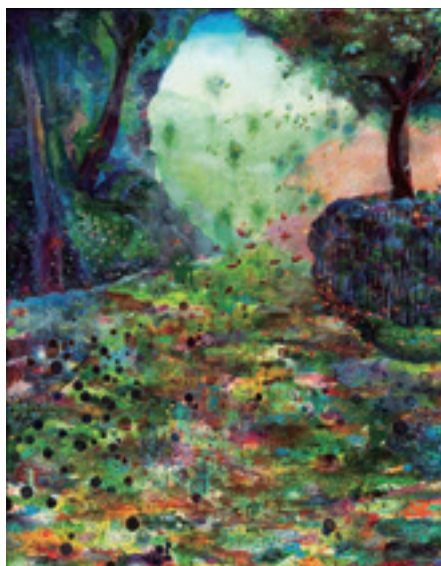
光り輝く煌き
里中 香史

津市教育長賞



未知の黙考
上村 貞一郎

岡田文化財団賞



風は知っている
西井 輝

洋画審査評

今年は、様々な表現に取り組んでいる作品とオーソドックスながら確かな技法に裏付けされた作品が混在する魅力的な展覧会になりました。

議長賞・教育長賞では、それぞれ際立った表現が印象に残りました。また、奨励賞では作り手の世界を感じさせる魅力にあふれた作品が多くありました。

津市の文化水準の高さを感じさせる良い展覧会であります。

津市長賞



あなたの輪郭は
日に日に曖昧になっていった
—紫陽花—
河邊 ありさ

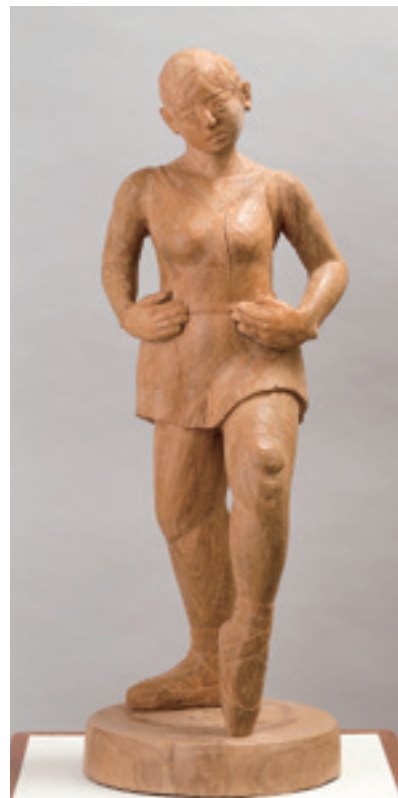
本作品は、本来映像を投影することで完成する作品です。しかし津市展における〈彫刻の定義〉に収まらないとのことで、本展では写真と文章で補完することにいたしました。

映像は母と幼い子供の会話の音声と、その会話に対応しながら変化する紫陽花の映像によって成り立っています。

本作品の動画はYouTubeにも投稿されています。お手数ですが下記のQRコード、もしくはYouTubeサイト内で「河邊ありさ」と検索し、ご覧いただければ幸いです。故郷である津市の文化の進歩と発展を心より願って、この作品を出品いたします。



津市議会議長賞



レッスンの合間
前田 義勝

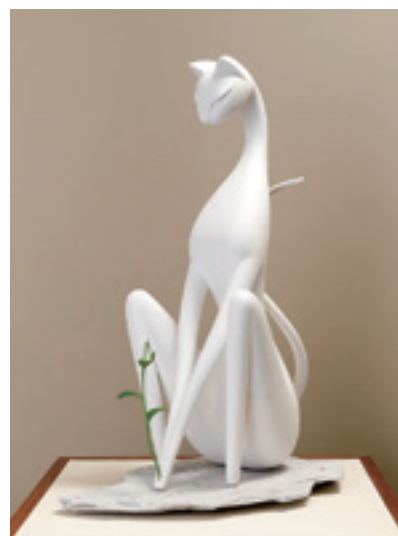
岡田文化財団賞

寸草春暉
北岡 丈和



津市教育長賞

廃
木村 豪孝



彫刻審査評

はじめに、出品数の増加と若い方々の挑戦が見られ、立体彫刻作品への関心が高まったことを嬉しく思いました。審査では、制作姿勢と仕事量や完成度、作者の空間感覚とメッセージが感じられる作品を評価の観点としました。市長賞の作品は、新しい発表の方法の提案として評価しました。

各人のメッセージが、制作を通して現代社会に発信されることを目指して、空間創造の世界で互いに頑張りましょう。

津市長賞



藁灰白萩釉大鉢

中村 秋夫

津市議会議長賞



翔馬

赤塚 敬一

津市教育長賞



DOGŪ — 1万年の時を超えて、今—

桂田 孝二

岡田文化財団賞



花色絵大壺

宮本 匡

本年度の津市展はバラエティに富み楽しい展覧会となりました。技術的に長年研鑽を積まれた作品や、沸き上がるエネルギーを感じさせてくれる作品もあり、それぞれに見応えがありました。

工芸とは何？…よく耳にする言葉です。

生活の中へ溶け込むのもよし、空間オブジェとして存在してもよし、その素材の持つ特性を活かし、造形として鑑賞に耐えうるものを目指して日々精進してまいりましょう。



津市長賞

五月晴れ

森下 喜美子

津市議会議長賞



みつめる

佐竹 敦子

津市教育長賞



泣くが勝ち

池山 ふみ代

岡田文化財団賞



みーんな結ちゃんの

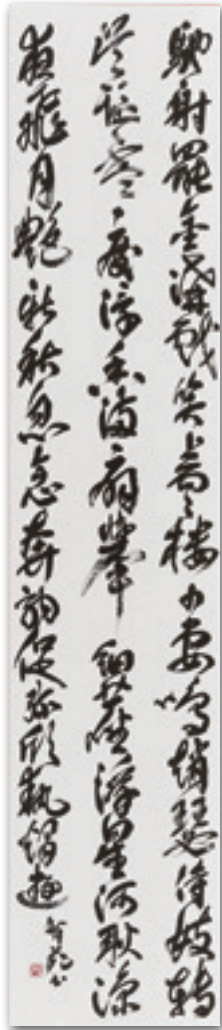
伊藤 輝代志

写真審査評

今年の出品点数は昨年に比べ19点減少したにも拘わらず、作品レベルは向上の傾向にある。内容はバラエティーに富んでいるが、ネイチャー作品の応募が少なく残念であった。

市長賞の「五月晴れ」は鯉のぼりをバックに遊ぶ子供達をローアングルで捉えたシャッターチャンスが素晴らしい。議長賞の「みつめる」は祭りの幕の継ぎ目を人間の目に見立てた抽象表現が印象的である。教育長賞の「泣くが勝ち」は力士の背後から撮影した泣き叫ぶ赤ん坊を適確に捉えたアングルが素晴らしい。

津市長賞



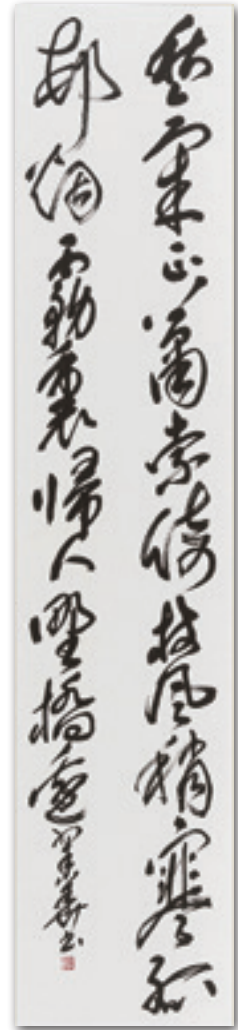
辛徳源詩
秦 智苑

津市議会議長賞



菜根譚詩
西村 皋風

津市教育長賞



良寛の詩句
中井 翠華

岡田文化財団賞

夜もすがら・・・
倉田 佳舟



書審査評

昨年より出品数が少なかったのは残念であったが全体的に力作揃いで見応えのある作品が多かった。書の生命は線質にあり、その線質を磨くのは古典の臨書である。臨書でしっかり鍛えた作品は鑑賞者の目をひく。類型化から脱皮し自己表現(個性)が出た作品は格調高い作品として鑑賞者を魅了する。